

# 「技術・家庭科」(家庭分野)の学習

## 1. 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身につける。

- 1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につける。
- 2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- 3) 自分と家族、家庭生活と地域の関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

## 2. 観点別評価項目と主な評価内容

	観 点	主な評価観点
①	知識・技能	プリント、実習、テスト
②	思考・判断・表現	プリント、話し合い活動、実習、レポート、テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	プリント、話し合い活動、実習、レポート、自主課題

## 3. 観点別の具体的な心構えや学習方法 (①～④は、上記の観点です)

	心構えや学習方法
①	☆指示された方法で、安全かつ正確に作品や提出物を仕上げる。 ☆学習した内容をもとに、生活の自立に必要な基礎的な事柄を理解できるようにする。
②	☆自分の生活をよりよいものにするための自分の考えを、作品や提出物に表現したり、工夫したりする。 ☆日常の生活の中での疑問などに、自分なりの考えを持つ。
③	☆自主課題を通して、自分の生活を振り返る。 1話し合い活動を積極的に行い、自分の考え方を広げる。 ☆実習では、計画性をもって意欲的に取り組み、準備や後始末も自ら進んでやりとげる。 ☆学んだ知識技能を、自分の生活の中でも活用していく。

#### 4. 家庭学習のあり方

- ・授業で習ったことは家庭で復習しよう。自主課題をプリントにまとめよう。
- ・授業で習ったことは自分の生活に役立てよう。

#### 5. 年間指導計画

	1年（35時間）	2年（35時間）	3年（17.5時間）
前期	<p><b>私たちの成長と家族・地域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族・家庭と地域</li> <li>・これからの家族と地域</li> </ul> <p><b>私たちの衣生活</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の選択と手入れ</li> </ul>	<p><b>私たちの食生活</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の役割と中学生の栄養の特徴</li> <li>・中学生に必要な栄養を満たす食事</li> <li>・調理のための食品の選択と購入</li> </ul> <p>【調理実習・肉の調理】</p>	<p><b>私たちの成長と家族・地域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の生活と家族</li> </ul> <p>【保育実習 または観察実習】</p>
後期	<p>【被服実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を豊かにするために</li> </ul> <p><b>私たちの住生活</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの役割と安全な住まい方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常食の調理と地域の食文化</li> </ul> <p><b>私たちの消費生活と環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの消費生活</li> <li>・責任ある消費者になるために</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流や観察したことを振り返る</li> <li>・これからの家族と地域</li> </ul>